

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院・臨床研修指定病院（基幹型）

**労働者健康安全機構 新潟労災病院**

〒942-8502 上越市東雲町1-7-12 電話：025(543)3123

FAX：025(544)5210

ホームページ：http://www.niigatah.johas.go.jp

新年度を迎えて

院長代理 小池 宏

構内の桜も咲き始めて、新しい年度を迎えて数日が過ぎました。昨年度は当院にとって、さまざまなことがあり、大変な1年だったと思います。当院の診療機能の低下のために、地域の皆様方や関係医療機関の皆様方、さらには上越市を始め関係自治体の皆様方には大変な御迷惑や御心配を御掛けしましたこと、改めまして御詫び申し上げます。

現在の当院の診療態勢について御知らせします。まずは整形外科ですが、新潟大学と産業医科大学の医局の御支援を得て岡部副院長以下9名の診療態勢が維持されています。非常勤ですが麻酔科医も確保できていますので、全身麻酔の手術もほぼ従来通りに行っています。歯科口腔外科は4月から初期研修医1名が加わり、後期研修医と合わせて武藤部長以下5名の診療態勢を整えることができます。3月末に松井部長が合同研修会で発表して下さいましたが、発達障害児（者）の歯科治療などの他、入院が可能な施設での治療が適切と思われる場合には、きっと皆様方の力になることができると考えています。脳神経外科は4月から、常勤医2名態勢での診療となっています。泌尿器科ですが、以前から御知らせしてきましたように、諸事情によって私一人での診療となっています。このため、発熱を伴う尿路感染症や強い痛みを伴う尿路結石症など、入院治療が必要と思われる急性期疾患への対応が困難となりました。申し訳ありませんが、他の医療機関に御願いさせていただきます。さらに、悪性腫瘍で集学的な治療が必要となると予想される場合にも、現時点では申し訳ありませんが、他の医療機関に御願いさせていただきます。皆様方には、御理解のほど、よろしく御願い申し上げます。

今年度は当院にとっては、試練となる1年になると考えています。この苦しい時に頑張っ初めて、良いこともあるはずで。当院が、この地域からなくなってもいい病院であるはずはありません。今は全職員が



一丸となって、この上越地域に微力ながら貢献できるように努めて参ります。皆様方の御理解と更なる御協力を、ここに改めまして御願ひ申し上げる次第です。



浮腫をきたす希少疾患 HAE について

内科部長 佐藤 信之



浮腫は日常的に遭遇する病態ですが、時々診断が難しい場合があります。今回は、時に重篤な症状を呈する希少疾患、遺伝性血管浮腫（HAE：Hereditary angioedema）について解説します。

HAE はブラジキニン介在性の血管浮腫で、C1-inhibitor (C1-INH) の異常がある HAE I 型・II 型と、C1-INH の異常がない HAE with normal C1-INH に分類されます。HAE with normal C1-INH はきわめて稀で、本邦での報告はありません。HAE I 型・II 型は 5 万－10 万人に 1 人の有病率とされ、本邦では 2000－3000 人の患者が想定されます。遺伝学的には常染色体優性遺伝で、患者の 85% に家族歴を認め、15% は de novo の遺伝子異常とされます。

C1-INH は補体系、カリクレイン・キニン系、線溶・凝固系に属する複数のセリンプロテアーゼ活性を抑制する蛋白です。HAE I 型・II 型は C1-INH の作用低下によってブラジキニンが過剰に産生され、血管透過性が亢進して浮腫を起こします。ストレスが誘因となり、小児期から 20 歳代までに発症することが多いです。体表の浮腫は境界が不明瞭で痒みがない点が蕁麻疹と異なります。喉頭浮腫の場合は、急速に進行して窒息に至ることがあり、腸管浮腫の場合は、腸重積や血管内脱水からショックを呈することもあります。

検査は血清 C1-INH 活性と C4 濃度を測定します。HAE I 型・II 型では、C1-INH 活性が常に 50% 未満、C4 は非発作時に 95% の症例で、発作時には全症例で基準値未満になります。

発作時の治療は C1-インアクチベーター製剤を投与します。本製剤は血漿蛋白分画製剤であり、使用前にインフォームドコンセントが必要です。学会のガイドラインでは、喉頭浮腫以外の発作時で本製剤が入手困難な場合は、次の選択肢として、トラネキサム酸を挙げています。手術や歯科治療が発作を誘発する可能性があり、HAE 患者に対して侵襲の大きな手術を行う場合には、手術前に C1-インアクチベーター製剤を投与し、発作時に備えて予備の製剤確保が推奨されています。

HAE は希少疾患で認知度が低いため、長期にわたり診断に至らない傾向があります。本邦の 2014 年の調査では、発症から診断までに 13 年以上の歳月

を要していました。近年は、日本補体学会の活動によって、疾患認知度が高まりつつあり、今後は早期の診断・治療が期待されています。

文献

- 1) 大澤 勲. 遺伝性血管浮腫とその問題点. 補体 2016; 53(1):20-30.
- 2) 堀内孝彦, 山本哲郎. C1 インヒビター欠損と遺伝性血管性浮腫. 補体への招待;139-147. 大井洋之, 木下タロウ, 松下操 (編). MEDICAL VIEW 2011.
- 3) 遺伝性血管浮腫 (HAE) ガイドライン 2014. 日本補体学会

☆☆☆ 医師の異動について ☆☆☆

採用(4/1)

第5 整形外科部長	たまがわ 玉川	しょうご 省吾
整形外科副部長	たかはし 高橋	やすひと 康人
歯科後期臨床研修医	すずき 鈴木	けんいちろう 兼一郎
歯科臨床研修医	とまる 都丸	れなこ 怜奈子

退職(3/31)

第2 整形外科部長	田西 信睦
第6 整形外科部長	花石 源太郎
消化器内科部長	前川 智
消化器内科副部長	野村 亮介
脳神経外科医師	安藤 和弘
第2 泌尿器科部長	羽場 知己
泌尿器科医師	中山 亮

プロフィールについては、次号でお知らせします。



• MSW (嘱託職員) を募集しています

急募

新潟労災病院の理念

“働く人の健康を守り、地域の急性期医療に貢献します”



新潟労災病院の基本姿勢

1. 良質で安全な医療を行います。
2. 患者の権利を尊重し、患者中心の医療を行います。
3. 地域の急性期医療を担当する高機能病院として、救急医療を行います。
4. 働く人の健康を守ります。

患者さんの権利

1. 人間としての尊厳をもって医療を受ける権利
2. 当院の提供する良質で安全な医療を受ける権利
3. 自らの健康状況を理解するために必要な情報を、当院から得る権利
4. 当院の提供する医療の内容および予測される結果について説明を受ける権利
5. 他施設の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
6. 当院から必要な説明を受けたうえで、自分の自由な意思に基づいて選択し、あるいは拒否する権利
7. 診療に関する記録の開示を求める権利
8. プライバシーが保たれる権利
9. 医療費の報告および医療費の公的援助に関する情報を受ける権利

患者さんの責務



1. 自らの健康に関する情報を正確に医療者に伝える責務
 - ・最適な検査や治療を受けるために、自身の健康に関する情報を詳しく正確に提供してください。
2. 診療等に関して自らの意思を明らかにする責務
 - ・医師から十分な説明を受けた上で、診断・治療方針について、自らの意思を明らかにしてください。
3. 診療等に関する指示や助言を守る責務
 - ・診療を円滑に受けるため、医療従事者の指示や助言を守ってください。
4. 病院の規則に従い職員や他者へ迷惑を掛けない責務
 - ・すべての患者さんが、安全で良質な医療を受けられるように配慮するとともに、当院職員が適切な医療を行うのを妨げないよう協力してください。

人間ドック／がん検診のご案内

☞ インボディ測定で身体チェック（次頁コース⑭）

インボディ測定で自分の身体の状態を把握することができます。水分量や部位別の筋肉量、脂肪量、左右のバランスなどが分かり、定期的に測定していただくことで、ご自身の健康管理のツールとしてご活用いただけます。人間ドックには検査項目に含まれていますが、インボディ測定のみ(540円)でも予約できます。ぜひ、一度インボディ測定を体験されてみてはいかがでしょうか？



☞ 乳がん検診は2年に1回受けましょう。（次頁コース⑥）

現在の日本においては、乳がんによる死亡率が急増中であり、日本人の40歳代に高濃度乳房が多くなっています。高濃度乳房の検査精度を補うために、乳腺エコーの併用をおすすめします。検査は女性技師が対応します。



☞ アミノインデックスによるがんリスク判定のおすすめ（次頁コース⑨）

1回の採血で多数のがんの疑いを同時に判定します。(肺・胃・大腸・すい臓・前立腺・乳・子宮卵巣がん) 疑いがあれば、次にそのがんに応じて精密検査を受けていただくこととなります。これまでがん検診を受けたことのない方、肉親にがん患者のいる方に、とくにおすすめします。

☞ 大腸がん検査は、便潜血(2回)法となっております。（次頁コース③）

☞ 腹部の超音波検査で前立腺・子宮と大動脈瘤の有無をみることができます。（次頁コース④）

肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓だけでなく、前立腺や子宮・卵巣にも病変が隠れていないか、積極的に確認しています。

1日ドック（がんと生活習慣病の一般コース（男女共通）（胃内視鏡検査なし） 27,540円

1日ドック検査項目（お食事券がつきます）

身体計測	身長体重 体脂肪 インボディ(骨格筋量) 腹囲 BMI
眼と耳の機能	眼底 眼圧 視力 聴力 問診 診察 情報提供と説明 指導
生理機能	胸部X線 呼吸機能 肺年齢 血圧 心電図 心拍数
血液 (肝腎機能・血糖・脂質・血球・炎症反応)	総蛋白 アルブミン AST(GOT) ALT(GPT) γ -GT(γ -GTP) ALP 総ビリルビン 尿酸 クレアチニン eGFR 血糖 HbA1c 総コレステロール 中性脂肪 HDL・LDLコレステロール 赤血球数 血色素量 ヘマトクリット値 MCV MCH MCHC 白血球数 白血球分画 血小板数 CRP 血液型(初回)
尿	尿蛋白 尿糖 尿潜血 ウロビリノーゲン PH 比重 沈渣
消化器	便潜血(2回) 超音波 肝胆膵腎+前立腺+子宮+大動脈

お手軽ドック（生活習慣の簡易コース（男女共通） 13,500円

お手軽ドック検査項目（検査のみのコースです。医師診察はありません）

身体計測	身長体重 体脂肪 インボディ(骨格筋量) 腹囲 BMI 問診
眼の機能	眼底 生理機能 胸部X線 血圧 心電図
血液 (肝・血糖・脂質)	AST(GOT) ALT(GPT) γ -GT(γ -GTP) 血糖 HbA1c 中性脂肪 HDL・LDLコレステロール 赤血球数 血色素量 ヘマトクリット値
尿	尿蛋白 尿糖 尿潜血

検診コースの①～⑪の検査は、ドックにオプション検査として追加することができます。もちろん、がん検診だけでも、いくつかを組み合わせるの実施も可能です。(★は1日ドック、☆はお手軽ドックに含まれます。)

がん検診コース

(税込み)

	内 容	ドック オプション料金	単独実施料金 (ドックなし)
①甲状腺がん	ホルモン測定 甲状腺エコー	8,100円	
②肺がん	低線量肺がんCT	9,720円	
③大腸がん	便潜血(2回) ★		1,620円
④肝胆膵臓+前立腺 ・子宮+大動脈	腹部超音波検査 ★		5,724円
⑤前立腺がん	PSA	1,836円	
⑥乳がん	マンモグラフィー撮影 乳腺エコー	9,936円	
	マンモグラフィー撮影	6,264円	
⑦子宮がん	内診 子宮頸部細胞診 子宮卵巣エコー(子宮体がんの検査を含む)	4,320円	
⑧腫瘍マーカー	CEA CA19-9 AFP	3,240円	
⑨アミノインデックスがん リスクスクリーニング検査	男性(胃・肺・大腸・すい臓・前立腺がん)	24,840円	
	女性(胃・肺・大腸・すい臓・乳・子宮がん)		

生活習慣病予防コース

(税込み)

	内 容	ドック オプション料金	単独実施料金 (ドックなし)
⑩頸動脈の動脈硬化	頸動脈エコー	5,940円	
⑪肺年齢	呼吸機能 ★		3,240円
⑫骨密度検査	X線(結果説明あり)	3,780円	
⑬内臓脂肪測定検査	腹部CT	3,240円	
⑭インボディ測定	体成分分析装置(骨格筋量測定)★☆		540円
⑮睡眠時無呼吸検査	自宅で睡眠時に測定(機器貸出し)	5,400円	

その他

(税込み)

	内 容	ドック オプション料金	単独実施料金 (ドックなし)
⑯肝炎検査	HBs抗原 HCV抗体	2,322円	
⑰HIV検査	HIV抗体	1,404円	

人間ドック・がん検診コース・生活習慣病予防コースは予約制です。

下記①②の方法でご予約下さい。

- ① お電話または医事課0番窓口にてお申し込み下さい。

電話 025-543-3123 内線(1233) 平日 8:30～16:00

- ② 人間ドック申込書(新潟労災病院ホームページ(<http://www.niigatah.johas.go.jp/>)よりダウンロード)に必要事項を記入し、新潟労災病院医事課へ郵送またはFAXして下さい。

〒942-8502 新潟県上越市東雲町 1-7-12

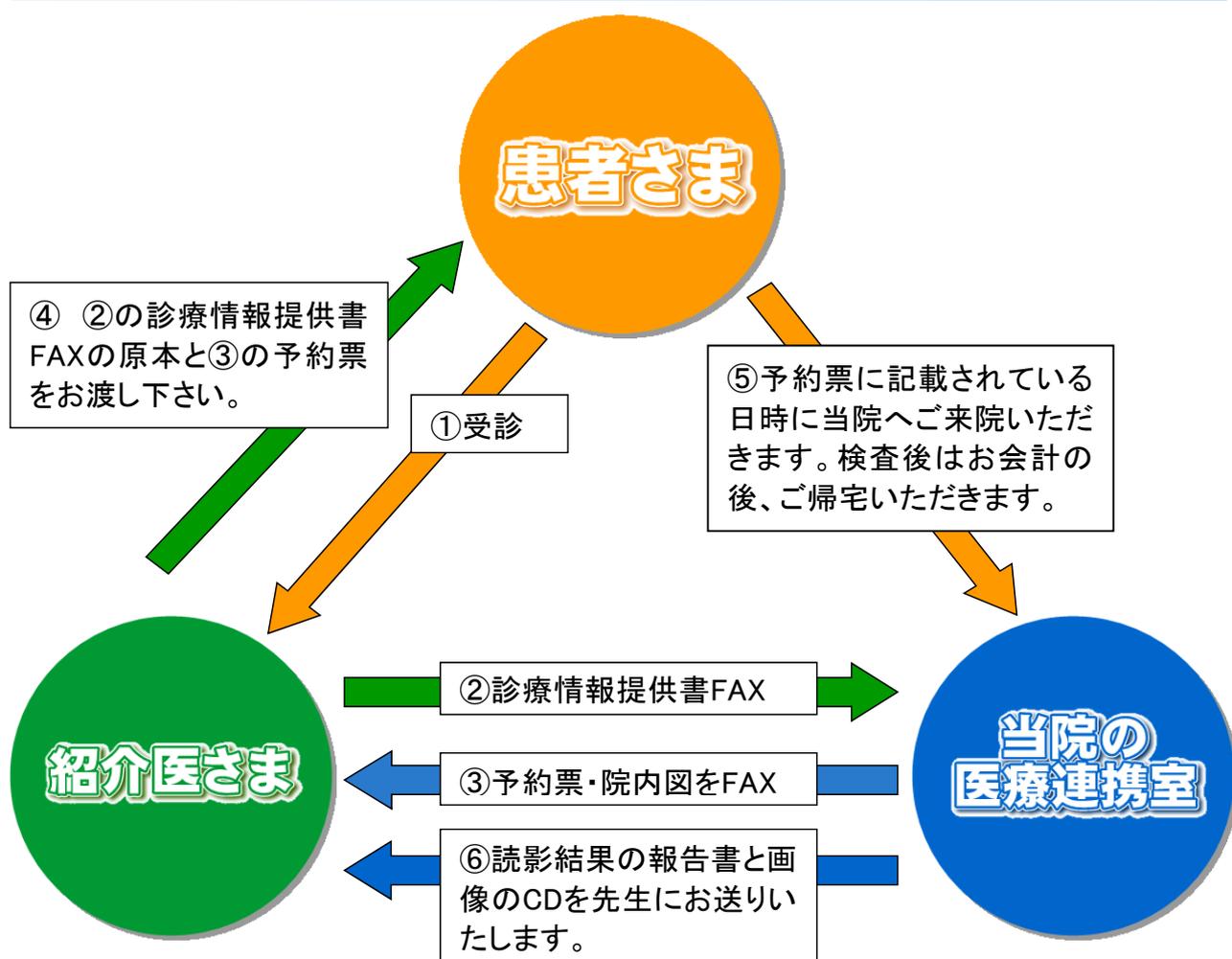
新潟労災病院医事課ドック検診担当 FAX 025-543-7110

画像診断機器の共同利用について

地域の医療機関の先生方へ

当院では地域医療の連携と協働を推進し、地域医療の中で必要なときに必要な検査ができる体制づくりをすすめております。CT、MRI、核医学検査などの画像診断機器による検査を診療の様々な場面でお役立て下さい。

- ・基本的には予約制ですが、緊急の場合は即日でも対応いたします（平日のみ）。
- ・当院の放射線診断専門医による読影結果の報告書と画像CDをお送りします。



通常の予約の場合

1. 当院専用の診療情報提供書FAX用紙に必要事項をご記入下さい。
専用FAX用紙は医療連携室(TEL 025-543-7190)へご連絡いただきましたら早急
に送付いたします。当院のホームページよりダウンロードも可能です。
2. 医療連携室へFAX下さい。(FAX 025-543-7110)
検査希望日に空きが無い場合は電話にて調整させていただきます。
3. FAXにてお返事いたします。予約票、並びに診療情報提供書の原本を患者様にお
渡し下さい。当日、医事課受付窓口へご提出いただきます。

緊急で当日お電話で予約をいただく場合(平日のみ)

1. 医療連携室へお電話ください。(TEL 025-543-3123 内線 1247)
放射線診断専門医へ電話をお繋ぎいたしますので、検査名、患者様のお名前、生年月日をお知らせ下さい。
※患者様のご来院いただく時間を、電話にて調整させていただきます。
※緊急の場合は単純撮影のみとなります。ご了承の程お願い申し上げます。
2. 医療連携室へ診療情報提供書をFAXにてご送信下さい。(FAX 025-543-7110)
診療情報提供書の原本を患者様へお渡し下さい。来院時に医事課受付窓口へご提出いただきます。

造影検査が必要な場合

造影検査が必要な場合は、診療情報提供書FAX用紙の問診欄と2ヶ月以内のクレアチニン値をご記入願います。

また、検査同意書を必ずご記入いただきまして、診療情報提供書と一緒にFAXにてご送信下さい。同意書の原本は患者様へお渡し下さい。来院時に医事課受付窓口へ提出いただきます。

時間外・休日にお受けしました予約につきましての予約票の返信は、翌診療日となります。あらかじめご了承の程お願い申し上げます。

診療情報提供書FAX用紙は、医療連携室(TEL 025-543-7190)へご連絡いただきましたら早急にお送りさせていただきます。当院のホームページからダウンロードすることもできます。

ホームページ右側中ほどの「地域医療連携について」をクリックしていただき、「医療機関の皆様へ」をクリックしていただきますと「画像診断予約(CT・MRI)」が表示されます。こちらをクリックしていただきますと、診療情報提供書と検査同意書のPDFファイルをダウンロード可能なページに切り替わります。

共同利用につきましてご不明な点がございましたら医療連携室(TEL 025-543-7190)までお気軽にお問い合わせ下さい。



散歩道



4月、新年度が始まった。もうすぐ桜の時期となり、五月には新緑の季節を迎える。

春は、自然の変化に何かと目を奪われるが、身体と心も変化しやすい時期である。慣れない環境のストレスや季節のかわりめで肌荒れを起こしやすくなったりするようだ。

冬の間、暖房の使い過ぎなどから乾燥させてしまって肌力を弱めてしまっていたり、さらには肌の大敵「紫外線」もどんどん強くなってくる。花粉症に悩まされる人は、お肌（特に目と鼻まわり）にとどめを刺されてしまう。

先日、何気なくネットを検索してみたところ、春のお手軽肌ケアの方法を見つけた。濡らしたタオルをお皿に乗せて、約1分レンジでチン。タオルを軽く広げて熱を逃がしてから（やけどに注意）、顔にのせ、スチーム。さらに、温タオルを首の後ろに30秒おくだけで、じわーっと血行もよくなり、目や肩の疲れがやわらぐというものだ。リラックス効果と肌ケアをぜひお試しあれ。

(N. O)